
君のトナリで

昧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君のトナリで

【Nコード】

N9028C

【作者名】

昧

【あらすじ】

恋愛経験の浅い柚亜（ゆずと呼ばれる）高校生になってのんびりとした時間を過ごしながらも片思いの人の恋を今日も応援してる

プロローグ

あたしは今 大好きな人がいる

恋愛感情を持ったのは無意識で

隣りでその屈託のない笑顔

見ているだけで 心が和むの

だから君の恋 精一杯

応援してあげる

プロローグ（後書き）

プロローグかなり短くてすいませんでした（汗

第1話 きっかけ

「じゃあね、柚亜^{ゆあ}今日も行ってくるわ」

「怪我とかしないで5時間目サボりはダメだよぉ」

友達と囲んで食べていた昼食も終わりあたし以外の子が中休み短時間ながらの部活練習があるらしい

「はぁい 柚亜も大人しくしててね」

笑いながらあたしに向かって手を振り小走りに去っていく

テニスラケットや楽譜の入ったファイルを抱えて嬉しそうな表情どこかうかべながら

あたしはいつものように見送ったあと独り教室にぽつんという。

みんな部活熱心で すごいなあって思う

あたしも入学当時

中学校の頃続けていた吹奏楽を高校でも続行しようかホント考えた何回が行われた吹奏楽の定期演奏会はいくつもの高校のを聴きに足を運んだ

そして毎回感動するばかりで…

でも結局やめてしまった

まあそんな昔の話は置いてこう

最初は他のクラスの同中の同級生と話しに行ったり
図書室なんかでも覗いて読書、

今どきの高校生とは思えない時間を過ごしていた。

でも ある日 ふと

空を見上げたくなった

外の空気を求めたくなった

でもここからの窓の向こうの
校庭には忙しそうに動いている人々が見える

「誰もいない・・・静かに空を見れる場所・・・」

後から考えてみればそんな場所いくらでもあったんだろう。

でもあたしはあの場所の方に

足がむかっていたんだと思う

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9028c/>

君のトナリで

2010年10月21日04時01分発行